

《第4回 ICD特別賞受賞者》

ICD特別賞を受賞して

ICDフェロー

鈴木 設 矢



●抄 録●

近年の中国では矯正治療の要望が急速に高まり歯科治療に対する関心の高まりと考えています。講習会は、成都、北京、上海でしたが中国各地から受講されていました。

各地の歯科医院の内覧をしました。どの医院でも矯正専門の診療室があり、マウスピース矯正の装置は格納ケース専門の棚が設置してあります。

矯正専門医の考え方として患者さんの治療を永久歯の生え揃う前を「Ⅰ期治療」永久歯の生え揃った後を「Ⅱ期治療」と区別しています。

マウスピース矯正は歯の交換期では歯列が脱落により連続したプレートの装置が対応できず、主に治療開始時期はⅡ期治療からの治療法になります。

矯正治療もいろいろな手法があり、Ⅰ期治療の時期での乳歯列期、混合歯列期を埋める治療方法としては自己改善を指導するおうち矯正や拡大床を活用する床矯正治療で対応できます。矯正治療も治療方法に広がりがある時代になったと思います。

キーワード：中国、講演会、床矯正

受賞前の松尾通フェローとの会話。「この年になってからは褒められて受賞することはまずないですね。その分だけ感激は大きいですね」。

歯科治療は保存学、補綴学、口腔外科学から成り立っています。歯科人生を考えると、保存学の専門医の立場で矯正学を实践して40年が経過しました。床矯正治療や自己改善で歯列を正す“おうち矯正”を目指す指導をするようになりました。

国際交流として15年前より保存学的矯正治療である床矯正治療の講習会を数年に一回の割合で、中国の各地で講演して参りました。

2023年度の講習会は成都、北京、上海と講習会ツアーでした。成都の四川大学华西口腔医学院では歯科博物館が常設して、中国での近代歯科教育の歩みの経過が展示してあり、ICDの専門コーナーも設置してありました。

中国での講習会は日本の講習会とは異なり、ヒルトンホテルのフロアを貸し切りで、朝9時から午後5

時までの講習会の内容です。定員は400名、食事付きの2日間の内容です。これも日本にはない習慣ですが、講習会が終ると受講生と握手をして、記念撮影をします。講習会を受講したという証なのでしょうね。

ICD は歯科医師として経験と実績を重ね、選ばれたドクターの会と考えています。

中国と日本は地域のセクションは異なりますが、中国は地理的にも近隣であり、生活環境、医療環境も類



図1 中国での講習会

似しています。隣人としてICDのセクションの枠にと だけると嬉しいと感じています。
らわれずこれからはオブザーバーとして参加していた

Receiving the “ICD Special Award”

Setsuya SUZUKI, D.D.S., F.I.C.D.

In recent years, the demand for orthodontic treatment in China has been rapidly increasing, reflecting growing public interest in dental health. Although my lectures were held in Chengdu, Beijing, and Shanghai, participants traveled from across the country to attend them.

During visits to local dental clinics, I noted that each clinic had a dedicated orthodontic treatment room, complete with specialized shelving for aligner storage cases.

Orthodontic specialists generally distinguish between “Phase I treatment” , provided before the eruption of all permanent teeth, and “Phase II treatment” , beginning after full eruption.

Since aligner therapy is not well suited to the transitional dentition stage due to tooth loss and the discontinuity of the dental arch, treatment is typically initiated in Phase II.

In contrast, Phase I treatment, covering the deciduous and mixed dentition periods, offers a number of approaches, including home-based orthodontics that encourage self-correction and appliance-based methods, such as expansion plates. I believe that we are entering an era in which orthodontic treatment provides an increasingly diverse range of options.

Key words : China, Lecture, Plate Orthodontics